

テーマ③：「新放送システムおよび通信システムの最新技術動向」の講習会内容

日本CATV技術協会では、2014年度に日本を含む、「諸外国の放送・通信システムに関する技術動向調査」を行ったが、2015年度も引き続き、放送システムに関する技術動向や、DOCSIS3.1、PONシステム等の次世代通信システムなどの調査を行った。

2015年度は、通信の広帯域化やUHD TV伝送に利用できるシステム技術動向、4K・8Kなどのサービス動向について、特に海外の最新動向の調査を進めるとともに、日本の放送業界の新たな動きについても、調査対象とした。

本講習会は、昨年行った「新放送システムおよび通信システムの技術動向調査」のアップデート版として、最新技術動向について説明を行う。

目次

1. 放送システムの動向(全般)

- ・1.1 世界の地上デジタル放送の放送方式(世界)
- ・1.2 海外放送システムの動向(地上、衛星、ケーブル)
- ・1.3 日本の放送業界の動向(地上、衛星、ケーブル)

2. 広帯域伝送方式

- ・2.1 ATSC
- ・2.2 DOCSIS
- ・2.3 4K・8Kの衛星およびケーブルテレビ伝送技術
- ・2.4 多重化方式

3. PONシステム

- ・3.1 PONの国際標準化動向
- ・3.2 40G PONの標準化動向
- ・3.3 米国GPONサービスの動向

4. 圧縮技術

- ・4.1 映像信号の圧縮・伝送技術
- ・4.2 圧縮技術による映像の伝送容量
- ・4.3 HDR

5. アプリケーションおよびプラットフォーム・端末他

- ・5.1 HTML5
- ・5.2 ハイブリッドキャスト
- ・5.3 ケーブル4K放送システム
- ・5.4 4K・8Kテレビの動向

6. マルチメディア放送、その他の放送

- ・6.1 VHF-Low帯マルチメディア放送の概要
- ・6.2 エリア放送の動向

7. まとめ

- ・7.1 デジタル放送技術の高度化
- ・7.2 広帯域伝送システムの比較
- ・7.2 広帯域伝送システムのロードマップ